

項目名	技術管理室の新設による公共工事の効率化	
大綱要旨	設計における単価積算の適正化、公共工事コスト縮減の体制づくり、新たな工事発注（技術提案型：VE〔バリューエンジニアリング〕、分割発注：CM〔コンストラクションマネジメント〕）の導入を視野に工事の効率化を図るほか、公共工事再評価、建設副産物対策の推進など、より専門性を有する問題に対処するとともに、人材面においてもこれらに対応できる技術系職員の育成を行う。	
改革内容	建設部の所属機関として技術管理室を新設し、技術系職員の研修、設計積算、公共事業再評価、公共工事コスト縮減、建設副産物対策の推進および新たな工事発注（VE、CMなど）の導入を視野に工事の効率化に関する業務を所管する。	
改革効果	各事業課が実施している公共工事コスト縮減を促すことに加え、その取り組みを一体的に行うため、他部に比較し各種工事を施工し、実績の多い建設部に一元化することにより、適切な情報の共有化や設計施工技術のレベルアップが図られ、より専門性を有する問題に対応することができるとともに、地域に調和した工事と工事コストの縮減を図る。	
実施計画	年度	着手・実施
	詳細内容	
	14年度	
	15年度	実施
	16年度	
17年度		
		機構改正により技術管理室を設置